

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		スポーツ団体・指導者育成事業						予算事業名		スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会運営			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	スポーツ基本法				
			10	06	01	0401	経常経費						
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分	主要事業					
	4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進 (スポ							重点事業					
	②スポーツ・レクリエーション活動への支援						担当課係等	スポーツ振興課					
1指導者の育成と資質の向上						スポーツ振興係							
事業期間		継続 (年度～平成32年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員制度を活用し、活力ある生涯スポーツ社会の実現、誰もが気軽に楽しむことができる環境を構築する。							スポーツ基本法などにに基づき、各市町村で審議会の設置、推進委員の委嘱を行っている。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
・スポーツ推進審議会委員の委嘱と会議の開催(委嘱は2年に1回)							・スポーツ団体所属者等						
・スポーツ推進委員の委嘱 (2年に1回)、連絡協議会の設置及び運営支援							・未就学児、小中学生から老人会等各種団体						
・スポーツ推進委員の各種研修会等への参加促進							・市民全般 (特に定期的にスポーツを行っていない者)						
・ふれあい出前講座の開催受け入れ							・スポーツ推進委員						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							・市民のニーズが多様化しているため、様々なスポーツを紹介できる機会の充実とそれを支える、スポーツ推進委員の質の向上と知名度アップを図らなければならない。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
生涯スポーツの普及推進				スポーツ推進審議委員の委嘱 スポーツ推進委員の委嘱 生涯スポーツの普及推進 関東スポーツ推進委員研究大会茨城県開催 (結城市は県西地区の幹事)				生涯スポーツの普及推進 第2次結城市スポーツ推進計画策定					
■事業費													
			H29年度		H30年度								
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	838	1,052						
歳入計 (千円)			838		1,052								
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)		金額 (千円)								
	01	報酬	585		720								
	09	旅費	118		244								
	11	需用費	4		14								
	14	使用料及び賃借料	13		10								
	19	負担金補助及び交付金	118		64								
歳出計 (千円) (A)			838		1,052								
伸び率 (%)					25.53								
備考	総合計画 123ページ 予算書 179ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	スポーツ推進審議会の開催	回	目標	1.00	4.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	スポーツ推進委員の委嘱	人	目標	20.00	20.00	20.00
			実績	20.00	0.00	0.00
成果 指標	茨城県スポーツリーダーバンク登録者数	人	目標	28.00	30.00	30.00
			実績	26.00	0.00	0.00
	スポーツ団体登録数	団体	目標	47.00	47.00	47.00
	スポーツ協会及びスポーツ少年団への加盟・登録団体数		実績	45.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城市のスポーツ振興を図るうえで、団体及び指導者の養成は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市は地域の特性に応じた施策を策定し、実施する責務がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	本市の生涯スポーツの普及に大きな役割を果たしているスポーツ推進委員報酬の増額が必要であり、人員については市規則で定めた20人で様々な普及活動を行っており、人員効率向上は図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	審議会は市民全般にわたる補助金や計画等の審議を行っており、スポーツ推進委員は、市民全般を対象に活動している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	審議会委員には、本市の施策実績等をまとめた「ゆうきの生涯スポーツ」を配布し情報提供に努め、活発な意見を得られている。また推進委員は、ニュースポーツの新しい種目の研究やルール等の知識向上に努めるなど、効果は上がっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	アンケート調査等で「成人週1スポーツ」人口の集計は行っていないが、スポレク祭、まつり結城での参加者増加が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
徐々に市のスポーツ振興は図られており、今後も団体・指導者の育成を実施する。スポーツ推進委員は、自己研鑽や情報交換の場に出席する費用の自己負担を余儀なくされている場面がある。スポーツ推進委員の担い手を持続的に確保するには、報酬の増額が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
スポーツ推進委員を始め、各団体等へ指導者講習会等への参加を積極的に働きかけ、日本体育協会公認指導者や県スポーツリーダーバンクなど資格取得を推進し、市内の指導者の増加と資質の向上を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民のスポーツ環境の整備・充実を図るうえで指導者の養成と資質の向上は不可欠である。各種研修会参加のための支援策や指導者の活用方法などについて検討を行い、団体や指導者個人と連携強化を図っていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	